

# 「バラ解説」をご利用いただくにあたり

この度はご採択を賜り、誠にありがとうございます。

つきましては、「バラ解説」をご利用いただく場合の留意点等、ご一読の程をお願い申し上げます。

## 従来「解答解説書」の問題点

- ・「解答解説書」を先に渡すと、「答え」を丸写しして…勉強にならない。
- ・かといって、1冊終えた後に渡しても…読まない。
- ・その都度「バラの解答解説」を用意しても…読まない。

★「解説」を読むことで学習効果が上がるのに…読ませたい、考えさせたい。

## 「問題集」の「解説書」と「解答書」を分けたねらい

- 「バラ解説」でない場合の構成と使用例  
構成（本書1冊／解答書1冊／解説書1冊）  
・本書と解説書を同時に配布。

☆問題を解くにあたり、解説書を読みながら解きすすめていく…読む。

（「解答そのもの」は掲載していないので「丸写し」はできません）

1回ごとに配りたい場合

## 「バラ解説」の構成と使用例

- 構成（本書1冊／解答書1冊／バラ解説 問題数分／解答PDF）  
・本書の一題を解いた後、バラ解説（一回分）を配布。  
必要によって、本CD-R内の「解答PDF」を掲示。

☆問題は先ず自力で解く。

頭に残っている内に、解説書を…考える、読む。

熟読する必要はありませんが、上記いずれの場合も「解説を読む」ことを習慣づけることにより、国語の設問に対する「既視感」や「気づき」等、大幅な学力の向上が期待できるはずです。

# 1 小式部内侍

こしきぶのないし

とじよりずいのう  
俊頼髄脳

本書 p. 4  
解説書 p. 4

## 古文単語

(ア) ① (イ) ③ (ウ) ④  
<1点×3>

## 古典文法

② <4点>

## @ポイント

1 後悔 2 和泉式部 3 小式部内侍 4 直衣 5 心とく  
<2点×5>

## 設問

Q 1 打消の接続助詞

<2点>

Q 2 (1) ▽ 文 ▽ 踏み

<完答で4点>

(2) まだ天の橋立に足を踏み入れたこともなく、丹後の母からの手紙なども見ておりません。【掛詞の二とおりの訳の「足を踏み入れた」と「手紙」ができていなければ0点。】 <5点>

Q 3 a Ⅱ ア b Ⅱ ア

<2点×2>

Q 4 「小式部内侍が」即座に優れた歌を詠んだこと「に」対する、定頼の驚きの気持ちの表れ」 <完答で5点>

Q 5 思いつくことができなかったので、 Q 6 心とく詠める <各5点>

Let's チャレンジ ① ガ行上二段活用・連用形 ② ハ行下二段活用・連体形 ③ ワ

行上一段活用・連用形

<1点×3>

## 2 花たちばなの香<sup>か</sup>

『伊勢物語』

本書 p. 6  
解説書 p. 8

古文単語

(ア) ① (イ) ④ (ウ) ③  
〈1点×3〉

古典文法

①  
〈4点〉

@ポイント

1 〓 宮仕へ 2 〓 人の国 3 〓 宇佐の使 4 〓 橘 5 〓 尼

〈2点×5〉

設問

Q 1 いそがしく・いそがし・シク〔活用〕連用〔形〕

〈4点〉

Q 2 (1) まめなら

〈3点〉

(2) 誠実に愛そうという人「愛そう」は「思おう」でも可。

〈5点〉

Q 3 そうでなければ(私は酒を)飲むまい。「未然形+は(は)」の順接の仮定条件の訳が2点。

「じ」の打消意志の訳が2点。

〈4点〉

Q 4 エ

〈5点〉

Q 5 女あるじ

〈4点〉

Q 6 ア

〈5点〉

Let's チャレンジ

① 浅瀬の流れが速いので ② ああ、おさないなあ。

③ なん

と愚かなのか。

〈1点×3〉

### 3 深草の里

『無名抄』

本書 p. 8  
解説書 p. 12

#### 古文単語

(ア) ① (イ) ③ (ウ) ①  
〈1点×3〉

#### 古典文法

④  
〈4点〉

#### @ポイント

1 おもて歌 2 すぐれ 3 言ひ比ぶ 4 腰の句 5 かのた

ぐひ

#### 設問

Q 1 1 聞こえ 2 給ふる 3 あら  
〈2点×3〉

Q 2 1 五条三 侍りし。 2 かの歌よりぬる。 3 わが歌より給へ。  
〈2点×3〉

Q 3 1 夕され 給ふる 2 いさ、 3 からず  
〈3点×2〉

Q 4 俊恵が「み吉野の」の歌が自分の代表歌(だと言った)。「主語がなければ3点。」「代表歌」は「おもて歌」でも可。  
〈全答で6点〉

Q 5 ア  
〈6点〉

#### Let's チャレンジ

① 謙譲の補助動詞 ② 尊敬の本動詞 ③ 尊敬の補助動詞

〈1点×3〉

# 4

## 敷島の道

### 『胆大小心録』

本書  
解説書  
p. 16 p. 10

#### 古文単語

(ア) ㉒ (イ) ㉓ (ウ) ㉔  
(1点×3)

#### 古典文法

㉕ (4点)

#### @ポイント

1 ㉒ 後醍醐 2 ㉓ 冷泉殿 3 ㉔ 六波羅 4 ㉕ 佐介にながし 5 ㉖ 民草

(2点×5)

#### 設問

Q 1 和歌の道

Q 2 ア

(各6点)

Q 3 斬罪の罪からは逃げるできなかった不運なわが身であることだなあ。

【「斬罪の罪からは逃げるできなかった」の内容がなければ5点減点。「けり」の詠嘆の訳ができていなければ2点減点。】

(7点)

Q 4 エ

Q 5 心をこゝむべし

(各6点)

#### Let's チャレンジ

①受身の助動詞「る」の連用形 ②打消の助動詞「ず」の已然形

(1点×2)

**5** 能因<sup>のういん</sup>と加賀<sup>かが</sup>

『国歌八論余言』<sup>こっか はちろん よげん</sup>

本書 解説書 p. 20 12

古文単語

(ア) ④ (イ) ③ (ウ) ③  
〈1点×3〉

古典文法

②  
〈4点〉

@ポイント

1 ③ 歌合 2 ③ 能因 3 ③ 加賀 4 ③ 飽かれて 5 ③ もとりたる  
〈2点×5〉

設問

Q 1 1 ③ イ 2 ③ エ 3 ③ ア

〈2点×3〉

Q 2 そのままあつさりと人に公表してしまったならばおもしろみがないと思ったのだらうか、「おいらかに」「興なし」の訳ができていなければ各2点減点。疑問の訳ができていなければ2点減点。

〈6点〉

Q 3 ア ③ 懲 イ ③ 嘆き ウ ③ 縁語

〈2点×3〉

Q 4 ア ③ 白河の関への旅の歌 イ ③ 体験に基づくもの ウ ③ 日焼けをしてから

〈全答で6点〉

Q 5 エ

〈6点〉

Let's チャレンジ

① 断定の助動詞

② 形容動詞の活用語尾

③ 伝聞推定の助動詞

〈1点×3〉

## 6 うたた寝

『うたたねぞうし 転寝草紙』

本書  
解説書 p. 14  
p. 24

### 古文単語

(ア) ① (イ) ⑤ (ウ) ①  
〈1点×3〉

### 古典文法

⑤  
〈4点〉

### @ポイント

1 Ⅱ 女君 2 Ⅱ うちまどろみ 3 Ⅱ 手 4 Ⅱ たぐひなや 5 Ⅱ 御夢

〈2点×5〉

### 設問

Q 1 ウ

〈5点〉

Q 2 ウ

〈6点〉

Q 3 普通の人にはやはりもったいないご容貌ご様子であるので、

〈6点〉

Q 4 エ

〈7点〉

Q 5 「これ。」

〈6点〉

### Let's チャレンジ

① 断定の助動詞「なり」の連用形 ② 完了の助動詞「ぬ」の連

用形 ③ 格助詞(場所)

〈1点×3〉

7 鷹を放つ

『蜻蛉日記』

本書 p. 16  
解説書 p. 28

古文単語

(ア) ② (イ) ① (ウ) ③ (1点×3)

古典文法

② (4点)

@ポイント

1 日数 2 死 3 法師 4 戯れ 5 鷹

(2点×5)

設問

Q 1 ウ

(6点)

Q 2 死んでしまいたい(8字)

(6点)

Q 3 エ

(6点)

Q 4 自分の不幸な夫婦関係のせいで、我が子に切ない思いをさせたことに対する、  
みじめでいたたまれない【という感情。】どのような感情かが答えられなければならない0点。親と  
しての情けない思いが答えられていることが必要。】

Q 5 ウ

(6点)

Let's チャレンジ

① 推量 ② 婉曲 ③ 意志

(1点×3)



## 8

## 大納言殿参り給ひて

たま

## 『枕草子』

まくらのそうし

本書  
解説書  
p. 32 p. 18

## 古文単語

(ア) ② (イ) ③ (ウ) ④

〈1点×3〉

## 古典文法

②

〈4点〉

## @ポイント

1 文 2 更け 3 柱 4 犬 5 恐ろしう

〈2点×5〉

## 設問

Q 1 イ

〈4点〉

Q 2 エ

〈4点〉

Q 3 おやすみなさいますな。「な…そ」の禁止の訳ができていなければ3点減点。「大殿籠る」の訳ができていなければ2点減点。」

〈5点〉

Q 4 明け侍りぬなり

〈4点〉

Q 5 a 大納言(殿) ↓ 上の御前 b 作者 ↓ 上の御前

〈完全で3点×2〉

Q 6 大納言殿が折に合った詩句を即座に吟じ出したこと。(24字)「大納言殿が」が書けていなければ2点減点。「折に合った詩句を」「即座に吟じ出した」の内容が書けていなければ各3点減点。」

〈8点〉

## Let's チャレンジ

① 接続助詞(仮定条件) + 係助詞(疑問)

② 自己願望の終助詞

〈1点×2〉

9 青柳の歌・初雁の歌

『古今著聞集』

本書  
解説書 p. 36 p. 20

古文単語

(ア) ㊦ (イ) ㊧ (ウ) ㊨  
〈1点×3〉

古典文法

①  
〈4点〉

@ポイント

1 ㊦ 能は歌詠み 2 ㊦ はたおり 3 ㊦ 折にあはず 4 ㊦ 大臣 5 ㊦ 初

雁

〈2点×5〉

設問

Q 1 オ

〈4点〉

Q 2 一首詠んでみよ。「つかうまつれ」の訳ができていなければ0点。

〈5点〉

Q 3 エ Q 4 風流心が深く、慎重で思いやりに富む人柄。「風流心が深く」「慎重で思いやりに富む」の内容がなければ各3点減点。

〈各6点〉

Q 5 (1) ㊦ 「青柳の」の歌と「春霞」の歌 (2) ㊦ ともに初句が詠むべき季節と異なり

笑われたが、実はすばらしい和歌であった。「(ともに)初句が詠むべき季節と異なり笑われたが」「実はすばらしい和歌であった」の内容がなければ各3点減点。

〈各9点〉

Let's チャレンジ

① 副詞(禁止) ② 終助詞(詠嘆) ③ 強意(完了)の助動詞「ぬ」の

未然形

〈1点×3〉

# 10

## 帥殿と入道殿

『大鏡』

本書 p. 22  
解説書 p. 40

### 古文単語

(ア) ① (イ) ③ (ウ) ⑤  
〈1点×3〉

### 古典文法

②  
〈4点〉

### @ポイント

1 ㊦ 故女院 2 ㊦ 帥殿 3 ㊦ 父大臣 4 ㊦ 御車副 5 ㊦ 仲

〈2点×5〉

### 設問

Q 1 オ

〈4点〉

Q 2 1 ㊦ やすから 2 ㊦ あしかり

〈3点×2〉

Q 3 (1) ㊦ 帥殿 (2) ㊦ 故女院 (3) ㊦ 差し支えがあつてこのままお供できず、粟田口から帰らなければならぬこと

〈6点×7点〉

Q 4 こんなに帥殿の天幕の近くを通るようなことをしてはいけない。〔帥殿の天幕の近くを通るようなこと〕という内容が補えていなければ5点減点。〔な…そ〕の禁止の訳ができていなければ2点減点。〕

Q 5 オ

〈6点〉

### Let's チャレンジ

① 断定の助動詞「なり」の連体形の一部 ② 完了の助動詞「り」の連体形 ③ 形容詞「多し」の連体形活用語尾の一部

〈1点×3〉

## 古文単語

(ア) ㊦ ㊧

(イ) ㊨ ㊩

(ウ) ㊪ ㊫

(エ) ㊬ ㊭

(オ) ㊮ ㊯

(カ) ㊰ ㊱

(キ) ㊲ ㊳

(ク) ㊴ ㊵

(ケ) ㊶ ㊷

(コ) ㊸ ㊹

(サ) ㊺ ㊻

(シ) ㊼ ㊽

(ス) ㊾ ㊿

(セ) ㊿ ㊿

## @ポイント

1 ㊦ ㊧

2 ㊨ ㊩

3 ㊪ ㊫

4 ㊬ ㊭

5 ㊮ ㊯

6 ㊰ ㊱

7 ㊲ ㊳

8 ㊴ ㊵

9 ㊶ ㊷

10 ㊸ ㊹

11 ㊺ ㊻

12 ㊼ ㊽

## 設問

Q 1 ㊦ ㊧ ㊨ ㊩ ㊪ ㊫ ㊬ ㊭ ㊮ ㊯ ㊰ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

2 ㊦ ㊧ ㊨ ㊩ ㊪ ㊫ ㊬ ㊭ ㊮ ㊯ ㊰ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

記されない形。

Q 2 ㊦ ㊧

Q 3 ㊦ ㊧

Q 4 ㊦ ㊧

㊦ ㊧

Q 5 ㊦ ㊧

㊦ ㊧

㊦ ㊧

Q 6 ㊦ ㊧

㊦ ㊧

㊦ ㊧

㊦ ㊧

㊦ ㊧

㊦ ㊧

㊦ ㊧

㊦ ㊧

㊦ ㊧

㊦ ㊧

㊦ ㊧

㊦ ㊧

## 古文単語

(ア) ㊦ ① (イ) ㊦ ② (ウ) ㊦ ④  
〈1点×3〉

## 古典文法

㊦ ②  
〈4点〉

## @ポイント

1 ㊦ 女房 2 ㊦ 見忘るる 3 ㊦ 伏籠 4 ㊦ 美し 5 ㊦ 劣りたる  
〈2点×5〉

## 設問

Q 1 1 ㊦ エ 2 ㊦ ア 3 ㊦ ウ  
〈2点×3〉Q 2 a ㊦ エ b ㊦ ア c ㊦ ウ  
〈2点×3〉

Q 3 鳥合に出す予定にしていた帝から賜った鶏が、すっかりぼろぼろになって帰つてきたから。『鳥合に出す予定にしていた帝から賜った鶏』の内容が書けていなければ2点減点。

「すっかりぼろぼろになって帰ってきた」の内容が書けていなければ4点減点。 〈6点〉

Q 4 すばらしい評判である。 〈5点〉

Q 5 エ 〈7点〉

## Let's チャレンジ

① 尊敬の助動詞「す」の連用形 ② 過去の助動詞「き」の未然形

形 ③ サ変動詞「す」の未然形  
〈1点×3〉

(ア)  
= ①

$$\begin{array}{c} (1) \\ \parallel \\ (3) \end{array}$$

(ウ)  
||  
④

 $\angle 1 \text{ 点} \times 3$ 

古典文法

③

〈4点〉

@ポイント

1 大齋院

2 上東門院

### 3 Ⅱ その人の日記

#### 4 皇太后宮

君

## 設問

Q1 退屈をきつと慰めることができる物語がありますか。【退屈をきつと慰めることができる物語】「ありますか」の訳ができていなければ各3点減点。】（6点）

Q2 a  $\parallel$  イ  $\downarrow$  ア

b  
||  
ウ↓  
イ

C  
||  
工  
↓  
イ

〈完答で各2点×3〉

Q  
3  
1

4点

Q4 (1) 女房たちが気後れるほど立派で、奥ゆかしく、そばにしていると気詰まりな感じがするような人物。

〈4点〉

(2) ぼんやりしていて、女房として一人前でなく、漢字もろくに書けない様子。

紫式部は、宮中では万事控えめに振る舞い、敬愛する主君の道長になれ近づく

ようなことはなかったのに、その一方で、上東門院や道長のことを親しみ深げに目

記に書いているので、内気で慎み深い性格と似合わないから。「紫式部は、宮中では」

近づくようなことはなかった」「上東門院や道長のことを、慎重深い性格と似合わない」の内容が

書けていなければ各3点減点。】

Let's チャレンジ

①格助詞

## ② 強意の副助詞

### ③過去の助動詞

「き」の連体形

$$\begin{matrix} \wedge \\ 1 \\ \text{点} \\ \times \\ 3 \\ \vee \end{matrix}$$

## 古文単語

(ア) ㊦ (イ) ㊦ (ウ) ㊦ (1点×3)

## 古典文法

㊦ (4点)

## @ポイント

1 ㊦子持たらぬ 2 ㊦男子 3 ㊦返り申し 4 ㊦その人 5 ㊦三十 (2点×5)

## 設問

Q 1 昔、作者の父が作者の誕生を祈願した御社であったが、父は親子連れ立ってのお礼参りを果たせずに亡くなった。母は語り聞かせ、お礼参りをさせた。亡き両親の思い出につながる御社だから。『昔、作者の父が作者の誕生を祈願した御社』『父は親子連れ立ってのお礼参りを果たせずに亡くなった』『亡き両親の思い出につながる』の内容が書けていなければ各3点減点。 (9点)

Q 2 もう少し病気を我慢できなさらなくて、私が十一歳というときに、父はお亡くなりになった。『堪へ給はで』の内容が補えていなければ0点。 (4点)

Q 3 C ㊦作者の母が、親子連れ立ってのお礼参りを果たすことなく亡くなった亡夫のことを思つて流す涙。 E ㊦作者が、今は亡き父母のことを思つて流す涙。 (4点×2)

Q 4 十三になりくはせさせん (全答で4点)

Q 5 イ (5点)

## Let's チャレンジ

①お薬をお飲みください。 ②お手紙をさしあげなさる。

③花をさしあげているようである。 (1点×3)

# 15

## 紫の衣

『沙石集』

本書  
解説書  
p. 60 p. 32

### 古文単語

(ア) ① (イ) ④ (ウ) ③  
〈1点×3〉

### 古典文法

③  
〈4点〉

### @ポイント

1 石見国 2 小侍 3 紫の衣 4 父母 5 御台所  
〈2点×5〉

### 設問

Q 1 かづきするゝを歌ひける  
〈7点〉

Q 2 ア  
〈6点〉

Q 3 国司が、海女の和歌に感動して着物を与えたが、再び当意即妙の歌を詠んで着

物を受け取らない海女に対して、その慎み深さと和歌の才能に心を打たれ、愛しく

思った。  
〈10点〉

Q 4 オ  
〈7点〉

Let's チャレンジ ①侍る ②侍れ ③侍り  
〈1点×3〉



16 垣間見

『夜の寢覚』

本書  
解説書  
p. 64 p. 34

古文単語

(ア) ㊦ ㊧

(イ) ㊨ ㊩

(ウ) ㊪ ㊫

〈1点×3〉

古典文法

㊬

〈4点〉

@ポイント

1 ㊭ 箏の琴

2 ㊮ 和琴

3 ㊯ 琵琶

4 ㊰ 月

5 ㊱ 三の君

〈2点×5〉

設問

Q 1 オ

〈10点〉

Q 2 エ

〈10点〉

Q 3 ウ

〈10点〉

Let's チャレンジ

㊲ ㊳ (強意) の助動詞「ぬ」の未然形 + 推量 (仮定婉曲) の助動詞

「む」の連体形 ㊴ ナ変動詞「死ぬ」の未然形活用語尾 + 推量 (意志) の助動詞「む」

の終止形 ㊵ 終助詞 (他者願望)

〈1点×3〉

# 17

## 善悪の区別

『晏子春秋』

本書  
解説書  
p. 68 p. 36

### 重要語彙

(ア) ① (イ) ④ (ウ) ③

### @ポイント

1 政 2 善悪 3 察 4 左右 5 信

〈2点×3〉  
〈2点×5〉

### 設問

Q 1 患<sub>ニ</sub>善 惡 之 不<sub>レ</sub>分。

〈7点〉

Q 2 不善

〈7点〉

Q 3 ウ

〈9点〉

Q 4 オ

〈8点〉

### Let's チャレンジ

① 覆水盆に返らず。

② 我が烝民を立つるは爾の極に匪ざる

(は) 莫し。

③ 家貧しくして常には油を得ず。

〈1点×3〉

18

鄭人、履を買う

『韓非子』

本書  
解説書 p. 72 p. 38

重要語彙

(ア) ㉑ (イ) ㉒ (ウ) ㉓

@ポイント

1 ㉑ 拳燭 2 ㉒ 拳賢 3 ㉓ 此類 4 ㉔ 履 5 ㉕ 度

㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕  
2点×3  
2点×5

設問

Q 1 エ

5点

Q 2 誤って「燭を挙げよ」と(手紙に)書き込んでしまった。「誤って」「燭を挙げよ」「書き込んでしまった」が訳せていなければ各2点減点。

Q 3 ア

5点

Q 4 なんぞこれをこころみるにあしをもつてせざる。【現代仮名遣いでも可。すべて平仮名で書いていなければ0点】

5点

Q 5 イ

6点

Q 6 オ

5点

Let's チャレンジ

①秦王使者をして趙王に告げしむ。②楚の相の辱むる所と為る。1点×2

## 重要語彙

(ア) ② (イ) ⑤ (ウ) ①

## @ポイント

1 賢 2 知 3 可 4 天 5 知

<2点×3>  
<2点×5>

## 設問

Q 1 ウ

&lt;2点&gt;

Q 2 景公 仲尼 賢乎。其賢何若。子知其賢、而不知其何若、可乎。

子貢 賢。不知也。

&lt;回答で5点&gt;

Q 3 イ

&lt;4点&gt;

Q 4 B ② そのけんなるをしりて、そのいかんをしらず、【別解 ② そのけんなるをしるも、しかもそのいかんをしらず、】 D ② たかきこといくばくかは、みないはく、しらざるなり(と)。&lt;3点×2&gt;

Q 5 若い人も年寄りも、智慧のある者も愚かな者も区別なく、【…の区別なく】の訳ができていなければ0点。&lt;5点&gt;

Q 6 孔子の賢明さは、天の高さのように、はかりしれないほど偉大なものである。【孔子の賢明さ ② 天の高さのように ③ はかりしれないほど偉大】の内容が書けていなければ各3点減点。&lt;9点&gt;

## Let's チャレンジ

① 若は吾が故人に非ずや。 ② 夫れ何をか憂へ何をか懼れんや。

③ 虞や虞や若を奈何せん。

&lt;1点×3&gt;

## 重要語彙

(ア) ⑤ (イ) ③ (ウ) ③

## @ポイント

1 ⑥ 死 2 ⑥ 送 3 ⑥ 忠 4 ⑥ 難 5 ⑥ 忠臣

&lt;2点×3&gt;

&lt;2点×5&gt;

## 設問

Q 1 1 ⑥ エ 2 ⑥ イ &lt;3点×2&gt;

Q 2 ウ &lt;6点&gt;

Q 3 臣下の進言を受け入れる主君〔であれば〕一生涯危難にあうことはない〔のだから〕臣下が主君の危難のために死ぬことはない〔から〕〔臣下の進言を受け入れる主君〕一生涯危難にあうことはない〔臣下が主君の危難のために死ぬことはない〕の内容が書けていなければ各3点減点。】

&lt;9点&gt;

Q 4 不<sub>レ</sub>能<sub>三</sub>与<sub>レ</sub>君 陷<sub>二</sub>於 難<sub>一</sub>。 <5点>

Q 5 ウ &lt;6点&gt;

## Let's チャレンジ

①青色の染料は藍から取って、もとの藍よりずっと青い。

②学問が成就しなければ二度と故郷へは帰らない。

&lt;1点×2&gt;

21

## 我が胯下より出でよ

『史記』

本書  
解説書  
p. 84 p. 44

## 重要語彙

(ア) ㉑ (イ) ㉒ (ウ) ㉓

〈2点×3〉

## @ポイント

1 ㉑ 貧 2 ㉒ 怯 3 ㉓ 胯下 4 ㉔ 楚王 5 ㉕ 忍

〈2点×5〉

## 設問

Q 1 オ

〈3点〉

Q 2 お前は身体が大きく、好んで刀剣を腰に下げているが、心のうちは臆病なだけだ。『お前は身体が大きく』『好んで刀剣を腰に下げているが』が書けていなければ各2点減点。「心のうちは臆病なだけだ」が書けていなければ3点減点】

〈7点〉

Q 3 エ

〈各7点〉

Q 4 ウ

Q 5 ウ

〈6点〉

## Let's チャレンジ

①ただ人の話し声が聞こえるだけだ。 ②さつきの言葉は冗談にすぎない。 ③ただ益がないというだけではなく、その上害をもたらす。

④ああ、六国を滅ぼしたのは六国自身なのである。

〈1点×4〉

## 重要語彙

(ア) ② (イ) ③ (ウ) ④

## @ポイント

1 道 2 業 3 師 4 聖人 5 衆人

&lt;2点×3&gt;

&lt;2点×5&gt;

## 設問

Q 1 ウ

Q 2 庸<sup>ソ</sup>知<sup>ラン</sup>其<sup>シ</sup>年<sup>ニ</sup>之<sup>ノ</sup>先<sup>ニ</sup>後<sup>ニ</sup>生<sup>ナルヲ</sup>於<sup>ニ</sup>吾<sup>ヨリ</sup>一<sup>ニ</sup>乎<sup>ニ</sup>。

&lt;各5点&gt;

Q 3 自分より年下であっても、自分より先に道を聞き得た人物。『自分より年下であっても』『自分より先に道を聞き得た』が書けていなければ各3点減点。】

&lt;6点&gt;

Q 4 熱心に師に従って学ぶのか、師に従って学ぶのを恥じるかという違い。『熱心に師に従って学ぶのか』『師に従って学ぶのを恥じるかという違い』の内容が書けていなければ各4点減点。】

&lt;8点&gt;

Q 5 オ

&lt;6点&gt;

## Let's チャレンジ

①どうか大王様、急いで渡ってください。

②人が自分を裏

切つても、自分が人を裏切つてはならない。③儀礼は贅沢であるよりは、慎まし

くするほうがよい。④子どもの着物が身近にあったのでさえかじられたのだから、

まして馬の鞍が柱にかけてあればなおさらかじられるだろう。

&lt;1点×4&gt;

23

秋菊に佳色有り

『陶潜』とうせん

本書  
解説書  
p. 92 p. 48

重要語彙

(ア) ④ (イ) ⑤ (ウ) ③

〈2点×3〉

@ポイント

1 秋菊 2 憂 3 独 4 日 5 生

〈2点×5〉

設問

Q 1 イ

〈5点〉

Q 2 ア

〈5点〉

Q 3 ウ

〈6点〉

Q 4 イ

〈7点〉

Q 5 イ

〈7点〉

Let's チャレンジ

エ

〈4点〉



24

弓工の教え

『貞観政要』

本書  
解説書  
p. 96 p. 50

重要語彙

(ア) ③ (イ) ② (ウ) ④

〈2点×3〉

@ポイント

1 弓矢 2 弓工 3 天下 4 五品 5 得失

〈2点×5〉

設問

Q 1 況於治乎

〈5点〉

Q 2 自分では弓の奥義を究めることができたと思いきんでいた。

〈6点〉

Q 3 ウ

〈8点〉

Q 4 ア

〈8点〉

Q 5 エ

〈7点〉

25

茨の枝

『捜神後記』

本書  
解説書  
p. p.  
100 52

重要語彙

(ア) ②  
(イ) ②  
(ウ) ④

〈2点×3〉

@ポイント

1 ② 声  
2 ② 幼時  
3 ② 薔苳  
4 ② 除  
5 ② 正

〈2点×5〉

設問

Q 1

〈8点〉

Q 2

〈8点〉

Q 3

〈8点〉

Q 4

〈10点〉

ウ

エ

ウ

オ

重要語彙

(ア) ㉓  
(イ) ㉒  
(ウ) ㉔

〈2点×3〉

@ポイント

1 ㉒ 友人  
2 ㉒ 夜半  
3 ㉒ 女子  
4 ㉒ 首  
5 ㉒ 帰途

〈2点×5〉

設問

Q 1 エ

〈6点〉

Q 2 ア

〈8点〉

Q 3 イ

〈8点〉

Q 4 イ・カ

〈6点×2〉